

部落差別問題から考える

私の中の差別意識

私は差別していない

……本当に、そう言いきれますか？

24分

ワークシート付き

DVD (字幕版付き) 69,300円 (本体66,000円) [C#3941]
VHS 通常版 69,300円 (本体66,000円) [C#3942]
VHS 字幕版 69,300円 (本体66,000円) [C#3943]



東映株式会社 教育映像部

〒104-8108 東京都中央区銀座3-2-17
<http://www.toei.co.jp/edu/>

企画意図

部落差別問題を通し、人の中に巣食う差別意識への気づきを促してゆきます。
あからさまな部落差別は影を潜めました、まだまだ結婚差別や就職差別などは残っているのが現状です。この作品では、ドキュメンタリーを通し、差別された人々の心の痛みを伝えつつ、どうすれば差別がなくなるのか考えるきっかけを提供します。そして、自らの差別意識に気づき、正しい知識や判断力を持つことの大切さを伝えます。

パート1

現代の部落差別の特徴のひとつは、インターネットでの悪質な書き込みなど、差別問題がみえにくくなっているということです。

それゆえ、人々は差別問題に関し、無関心になりつつあります。

人権問題に詳しい竹内良さんは語ります。

「差別とは、『バカにする』『仲間外しにする』『いじめる』そして、『人を傷つける』ことだ」
あなたは身近なところにおきている差別を見落としていませんか？

——差別とはなにか、考えて見ましょう

パート2

「部落の人と、子どもが結婚って言ったらどうするだろうね。ちょっと考えるね」

「汚い食べ方すると『エツタみたいな食い方すな』って」

取材された人々の何気ない一言に、差別意識が見え隠れしています。

差別について、深く考えず偏見を持ち続ける人々と、結婚差別に苦しむ女性のインタビューを通して、

——なぜ差別は残るのか、考えてみましょう

パート3

人権啓発に取り組む川口さんは語ります。

「差別する側を不自由にする。だから自分のために学習してほしい」

また隣保会館の館長、村上さんは語ります。

「この社会で、差別心を持たず育つ人なんかいない。」

しかし人は、学習することで偏見に気づき、変わることができる存在だ」

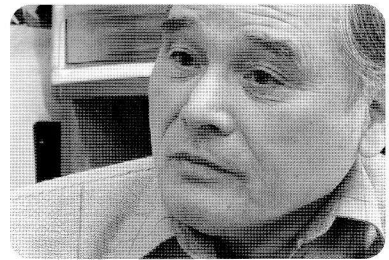
——あなたの中にある差別、偏見について考えてみましょう



東京人権啓発企業連絡会
啓発委員長 竹内良



山口県人権啓発センター
事務局長 川口泰司



西条市氷見交友会館
館長 村上進

プロデューサー・・・喜多 香織
脚本・監督・・・柳原 秀年

制作協力・・・株式会社キットクルー

企画・制作・・・東映株式会社 教育映像部

2010年作品

s.

関東営業推進室 東京都中央区銀座3-2-17 〒104-8108 ☎03-3535-3631
関西営業推進室 大阪市北区梅田1-12-6 〒530-0001 ☎06-6345-9026
広島出張所 広島市中区橋本町5-2 〒730-0015 ☎082-511-2066
福岡出張所 福岡市博多区中洲4-3-18 〒810-0801 ☎092-262-3101

●お買い上げは……

北辰映像株式会社

埼玉県さいたま市緑区三室2190-2 〒336-0911
電話048-810-5277 Fax048-876-2955